TDU ECO CAMPUS Vol.3
［東京千住キャンパス］

震災、水害への備え「防災対策」

取り組み

東京千住キャンパスの建物は大震災時の安全を確保し、震災直後に広場やピロティ・教室などが避難場所になるように設計されています。万が一、電力、上下水道等が途絶しても防災拠点として機能します。また、異常気象による大雨で荒川が氾濫しても、被害を最小限にするように工夫しています。

POINT

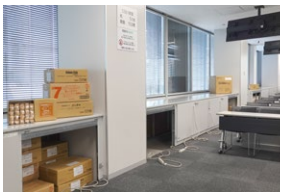
【大規模な洪水時の建物機能の確保】

荒川が氾濫した場合にキャンパス周辺の冠水が5m以上になると予測されており、これに対し1階の階高を6mとして電気室などを2階以上に設け、被害を最小限にするよう配慮しました。

POINT

【非常用飲料水や食料などの備蓄】

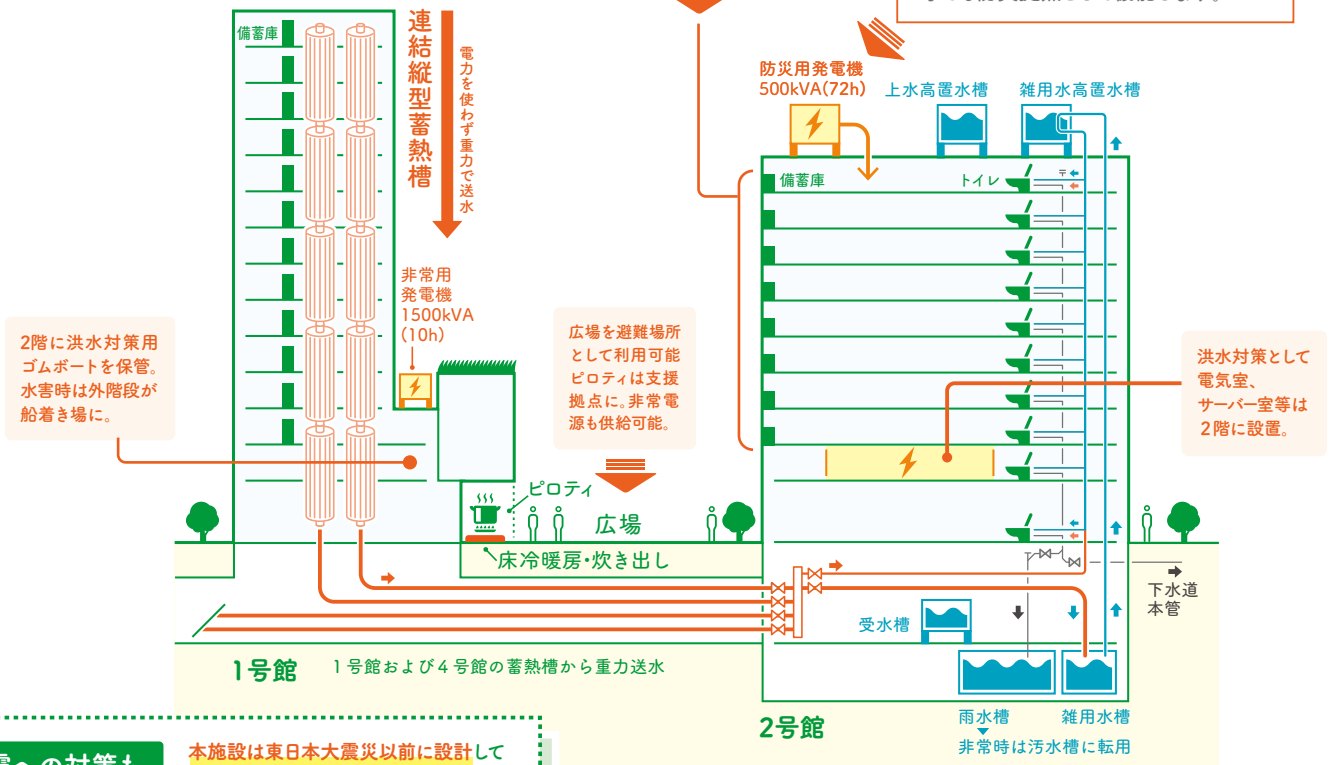
災害時の避難場所として教室を想定。避難した方々のために窓台内部に非常用の飲料水や食料を常時備蓄しています。



POINT

【災害時の電源確保】

2号館屋上の72時間連続運転可能な防災用発電機などにより、災害による停電時でも防災拠点として機能します。



地震への対策も［免震・制震・耐震］

本施設は東日本大震災以前に設計していますが、最新の免震・制震・耐震構造を採用しています。

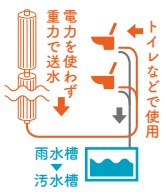
免震積層ゴム

制震オイルダンパー

POINT

【非常時のトイレ機能の確保】

停電・断水でも、蓄熱槽の水をトイレ洗浄水として重力送水が可能で、ポンプで高置水槽に揚水することもできます。また、公共下水道が損傷していても、雨水槽を臨時の汚水槽に切り替えてトイレを利用可能にします。



大学関係者だけでなく、近隣住民の一時避難所としての機能も想定しています

東京電機大学　［東京千住キャンパス］〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番